



# ニュースレター



NPO 法人大阪環境カウンセラー協会

第 21 号

Apr. 2006

*Osaka Environmental Counselors Association, Nonprofit Organization*

## 「平成 18 年度を迎えるに当り」

理事長 高井 茂

ようやく暖かい春になってまいりました。会員の皆様にはご健勝のことと拝察いたします。

17 年度は前年に比して一層充実した活動が出来ました。特に新たに設けられた、「エコアクション 21 地域事務局大阪」は、初年度にも関わらず健全な業績を上げることが出来ました。即ち、EA 21 導入チームの継続的な努力、事務局員の地道な努力、「自治体イニシアティブ・プログラム」への積極参加と、関係者一丸となつての努力が実つたもので、この成果は、今後の将来を大きく開くものと思っています。

又「なにわエコ会議事務局」も着実な歩みで無難にこなしたことを喜びたいと思っています。

従来からの活動部門も、経験と実績が重なり、市民の中に浸透してきたと感じています。

18 年度は環境 NPO に対する追い風が一層強くなってまいります。会員の皆様の、一層のご協力をお願い致したいと念じています。健康で明るく愉快的な活動を続けていきましょう。



## なにわエコ会議事務局 活動報告

市民、NPO、事業者、行政が一体となった地球温暖化防止の活動に取り組む「なにわエコ会議」の事務局を 17 年 7 月から OECA で引き受けて約 9 ヶ月、無事に平成 17 年度の活動を終えることが出来ました。ひとえに皆様のご協力のおかげと感謝しております。

平成 17 年度の大きなイベントとして、12 月 5 日に大阪府中央公会堂に約 800 名の参加者を得て盛大に“地球温暖化防止パートナーシップ・フェア”を開催いたしました。基調講演に「南極から地球が見える」と題して、南極越冬観測隊に参加された朝日新聞記者の貴重な体験談をお聞きし、実際に南極の氷に直に手で触れる機会を設けることが出来ました。パネルディスカッションでは、「協働による温暖化防止活動」のテーマで各部会長をパネラーにそれぞれの活動の報告をご披露していただきました。

こういった活動のほか、西成区商店会連盟様の主催された“西成アメリカンフェスティバル”では各商店街で、参加者へ環境クイズを実施し、また“大阪市のエコアクション 21”の自治体イニシアティブにも積極的に参加したり、“環境教育マッチングフェア”では、なにわエコ会議に参加している各エコパートナーを一同に集めて、お互いの活動を紹介する催しなどを進めて参りました。



平成18年度事業は、事務所を鶴見区の「生き生き地球館」内に移転する大阪市の方針が決められておりOECAでの直接の事務作業ではなくなります。

ただ、OECAも、なにわエコ会議のエコパートナー（会員）であり、また事務員もOECAから派遣する形になって「なにわエコ会議」活動に関与してまいりますので、今までと同様にご協力をお願いいたします。また、なにわエコパートナー個人会員（年会費¥2,000.-）へのご加入もお待ちいたしております。

なにわエコ会議事務局 塚本 勝

## 大阪市市民環境調査隊・事業報告

本事業は、大阪市の環境基本計画の着実な進行管理を行うために、大阪市環境施策の成果・実績を点検・評価し、取組や行動を継続的に改善するPDCAサイクルのCheck（点検・評価）の段階で、施策評価に市民意見を反映し、環境関連施策の継続的な改善を試みることを目的として、平成16年度と17年度に大阪市のモデル事業としてOECAが受託した事業である。

平成17年度は25名の隊員を公募し、全体会議、フィールド・ワーク、テーマ別分科会を経て、最終的に20項目の提言を得ることができた。

これまでの2年間の成果は、市民、NPO（OECA）、行政（大阪市）、学識経験者の「協働」による環境関連施策の継続的な改善のための市民意見集約手法のモデルを構築し、今後も継続して市民意見を集約するシステムの基盤を構築したことである。

本事業が持続可能な活動となるように、16種類の作業手順・様式を整備した。主に整備した様式はチーム活動フロー（標準）、日程調整表、分科会討議シート、暫定活動計画書、活動計画書兼記録、各種議事録（分科会、チーム会議、FW記録）、活動総括様式等である。

本事業で構築したモデルは、「協働」による市民意見の集約手法として環境施策の効果的な実行の原動力の一つとなり、今後の大阪市の環境基本計画の着実な進行管理に有効である。

今後は、この2年間に整備した手法がより実効性の高いものとなるよう、「協働」をさらに効果的に実践する手法に検討を加えると共に、人と環境が調和するまち「環境先進都市大阪」を実現するために、NPOの社会的責任を認識し、NPOの特徴を生かした「協働」活動を継続的に実施することが重要となる。

2年間、本事業にアドバイザーとしてご協力頂いた皆様、また、事務局としてご協力頂いた皆様に感謝致します。

18年度はモデル事業ではなく、この成果を基礎に正式な事業としてスタートする予定です。

今後もNPOとしてのOECAの社会的役割を果たすために会員各位のご協力をお願い致します。

大阪市市民環境調査隊  
総合アドバイザー 飯田 哲也



第3チームメンバー



全体報告会（宇田執行副理事長）



「市民環境調査隊」参加証明書授与

## 環境教育部会 活動報告

平成 17 年度の環境教育部会は、(財)地球環境センター(GEC)、省エネルギーセンター、大阪市等からの依頼で実験教室やセミナーを行い、OECA会員の皆様のご協力により大阪市を中心として、約1000名の参加者に環境教育を実施することができました。

中でも天下茶屋小学校の実験教室はJICAの海外研修生が見学し、実験にも参加したため、GECニューズレター25号にも掲載され、各国の国連機関にも配布された。また喜連北小学校の実験教室は朝日新聞に大きく掲載された他、英字新聞にも掲載されことから英国の読者からメールでの問合せがきました。

今年度も(財)地球環境センターからの受託事業を実施する予定ですので、引き続きOECA会員の皆様のご協力の程よろしくお願い致します。

## (財)地球環境センター受託事業(実験教室)実施実績表

No.	実施年月日	実施先	参加人員
1	H17.06.25	エコ縁日(生き生き地球館)	50
2	H17.10.31	大阪市立天下茶屋小学校	45
3	H17.11.25	大阪市立内代小学校	76
4	H17.11.29	大阪市立鯉江小学校	78
5	H17.12.01	大阪市立上中泉尾小学校	74
6	H17.12.06	大阪市立田川小学校	55
7	H17.12.07	大阪市立今宮小学校	30
8	H17.12.08	大阪市立港晴小学校	38
9	H18.01.11	大阪市立佃南小学校	88
10	H18.01.13	大阪市立豊崎小学校	49
11	H18.01.16	大阪市立喜連北小学校	68
合計			651



大阪市立天下茶屋小学校



大阪市立喜連北小学校

環境教育部会 部門長 阪野 喬

## EA21導入チーム17年度活動報告

EA21の普及拡大するための活動をOECAチームメンバー(28名)で推進中である。この活動により地球環境保全への理解、環境経営の理解・必要性、EA21の知名度の向上に貢献できた。

また、積水グループの“サプライチェーンEA21”のような活動は、今後、企業のサプライチェーンの取り組みにEA21導入の動きが出れば大きな活動の柱になるであろう。今後、自治体、各事業者、各種業界団体、組合及び昨年来フォローしてきたO社のサプライチェーンに力を入れていきたい。

17年度の主な活動は以下の通りであったが、18年度も継続しますので、会員の皆様のチームへの参加、協力をお願いします。

1. 大阪府地球環境課温暖化対策グループ主催の「EA21セミナー」へ講師の派遣。  
吹田、泉佐野、大阪、高槻、豊中の5商工会議所
2. 17年度自治体イニシアティブ参加された3市の活動支援を行った。  
・大阪市(島林)、・吹田市(前田)、・富田林市(落合)、GM:大畑
3. OECA主催の「EA21基礎セミナー」、「EA21内部指導員養成コース」開催した他、自治体などの依頼によるセミナー講師派遣。
4. EA21審査業務及びコンサルティング業務

尚、この活動を効果的に推進するため、OECAのチームメンバーで“EA21全体会議”を毎月1回開催し、府下44市町村へのEA21普及活動の報告・検討等のコミュニケーションを図っている。

EA21普及部門 部門長 大畑 明

## エコアクション21 地域事務局大阪の17年度の活動報告

現在、エコアクション21 中央事務局（IGES）で認定されている地域事務局は24 都府県 33 団体があり、3 月末の認証・登録該当事業者は全国で730 件登録されている。大阪府では認証・登録該当事業者は60 件が登録されている。

17 年度実施した「自治体イニシャティブ・プログラム」では、全国で18 自治体、300 余の事業者が参加した。18 年度は17 年度と同様の「自治体イニシャティブ・プログラム」の実施やエコアクション21 「関係企業グリーン化プログラム」等が実施されるので、17 年度にまして拡大され、多くの事業者の参加が期待されている。

エコアクション21 地域事務局大阪で実施した業務は、判定委員会第1 回を7 月7 日に実施、これをスタートに、3 月末で計9 回実施し、運営委員会は2 回実施した。

3 月末現在、事務局大阪で受付した事業者数は61 件有り、その内訳は認証・登録済み事業者は29 件、登録審査継続中事業者が11 件、中間審査終了と中間審査継続中事業者が21 件になっている。中間審査事業者は旧 EA21、パイロット、暫定の事業者で認証・登録されたものである。

地域事務局大阪で実施した、17 年度「自治体イニシャティブ・プログラム」は大阪市、吹田市、富田林市の3 自治体の申込みが有り、33 の事業者が終了した。これらの事業者は4 月に入り登録審査の申込が続くものと期待される。

さらに、エコアクション21 制度の普及促進を図る活動、業務として、OECA と共同で、開局記念事業となる「EA21 認証・登録制度セミナー」をはじめとして、「EA21 審査人向け力量向上研修会」、「EA21 審査人受験対策セミナー」、「環境関連法規学習セミナー」、また、「エコアクション21 基礎コース」、「新 EA21 セミナー・研修会（内部指導員養成コース）」、「サプライチェーングリーン化拡大を支援する EA21 セミナー」、「環境経営に取り組む中小企業の皆様を支援する EA21 セミナー」、「産廃処理業 実践セミナー（優良性評価適合への道）」等のセミナー及び、大阪府下各地で「自治体イニシャティブ・プログラム」の説明会を多数実施した。

これらのセミナー、説明会を通じ、多くの事業者をはじめとして、各関係機関に普及促進活動を展開したことを報告します。



EA21 審査人向け力量向上研修会

### EA21 地域事務局大阪 北 潤明

**自治体イニシャティブ・プログラム**：エコアクション21 認証・登録制度の実施の一つとして、自治体（市区町村）のイニシャティブのもとで、域内の多くの事業者が一斉にエコアクション21 に取り組むことにより、地域全体の二酸化炭素、廃棄物などの排出削減、エネルギーコストなどの削減を実現し、併せて「環境経営」の証が得られる仕組みが、「自治体イニシャティブ」です。詳細は財団法人地球環境戦略研究機関 エコアクション21 事務局 HP でご確認ください。

## EMS 普及部門の17年度の活動報告

EMS 普及部門の ISO 14001 関連の主な活動実績は次の通りです。

- ・ 内部監査員養成研修（piaNPOにて6 回開催）
- ・ 出前内部監査員養成研修（自治体：1 件、企業：2 社）
- ・ 企業向け従業員研修（1 社）

新たな ISO 14001 認証取得に関するコンサルティングはゼロとなりました。待っていても注文がくるわけではありませんので、会員の営業努力に期待するところが大きくなります。今後は、会員の皆さまから、EMS に関連した事業の提案を頂き、提案者が主担当となって、営業活動を進めて、その事業を開拓してゆきたいと思っておりますので、ご協力をお願いします。

尚、なにわエコ会議等は前記、掲載記事をご参照下さい。

EMS 普及部門 部門長 宇田 吉明

## 自然環境部門の活動報告

現在OECAでの自然環境部門は残念な事に設立して日が浅い事もあって、人工（社会）環境部門の長年に渡る活発な活動とは比べるべきも無いのが実情です。

本来自然環境部門と人工（社会）環境部門は車の両輪の如くバランスをとって機能してこそ完全な環境活動と成る筈で、当該部門の体制充実と活発な活動が必要だと感じています。

平成17年度は9月10日富平純講師による「水棲生物観察会」を河内長野市滝畑ダム上流キャンプ場にて開催し、10月11日には「樹木・キノコ観察会」を富田林市錦織公園にて瀬崎堅吉・福田裕両講師の指導で実施する事が出来ました。

18年度も同様の内部観察会の実施と、新規外部向けに「障害を持つ方の自然観察会」を計画しています。現時点で決定しているのは開催地は羽曳野市で窓口は同市社会福祉協議会。開催日時・場所は未定で、後日打合せの上決定する予定です。

自然環境部門では上記のような活動の充実と多様な意見を頂く為、より多くのスタッフを募集しています。

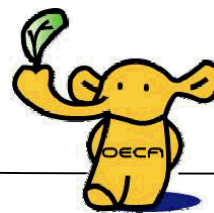
市民部門の方や新規登録された方々のご参加をお待ちしています。

自然環境部門長 福田 裕



樹木・キノコ観察会

## TOPICS



### エコライフサポーター派遣制度第1号

#### 発明おぼさんの紹介

OECAのメンバーである、“発明おぼさん”こと薬師寺秀子さんをご紹介します。薬師寺さんは、自らの体験と実践をベースに出前講座を行い、その講座内容は、体験談、リサイクル工作、便利グッズ作り、等々です。

2月に環境省の事業である「我が家の環境大臣事業」に参加されている和歌山のK社の「家庭でできる簡単な環境保全活動」というセミナーで、エコライフサポーター派遣制度第1号のサポーターとして参加された。

当日は事前に和歌山市の環境課を訪問され、事前に和歌山のゴミの状況などを確認し、市の方からレジ袋とトレーを減らす協力要請があったので、参加者にその旨を伝えるなど地域にも配慮されています。

このセミナーでは、

- **どんなものも捨てるのはもったいない**：身近な牛乳パック、一部壊れた傘のリサイクルなど、実生活ですぐできそうなリサイクル工作を紹介
- **手もタワシも排水口も汚れない油の処理方法**：フライパンの油取りには、お菓子の箱や牛乳パックの空き箱を名刺サイズに切ってとっておき、“へら”として利用すると便利。
- **雨傘の再利用法**：水に強い傘の生地を再利用して、エコバックやリュックサックに変身！傘の金具部分や一部壊れた布部分を繋いでパッチワークにして作る。

薬師寺さんは『趣味の発明工夫と洋裁の技術を活かし、小学生から社会人まで、人数に関わり無く対応できるよう、また、受講生を退屈させないように、講座内容にいろいろ工夫を凝らしています。小学校の受講生からは必ずといっていいほど、うれしいお手紙をいただきます。

社会人の方からも“便利グッズを作って配っています”等のお手紙を頂き、このお手紙を読む時が一番嬉しく、勇気、元気も一段と湧いてきます。OECA会員の皆さんにも、ぜひ、学校、市民団体、行政等に“発明おぼさん”をご紹介します。』と語っていました。（中島記）



上手に長くお使いください。  
発明おぼさんで〜す

## 地域の活動報告 (羽曳野市)

羽曳野市を中心に次のような活動を展開している。皆さんの参加、ご支援をお願いします。

### ① 環境市民活動への参画と創出

羽曳野市内の各環境市民活動団体をネットワーク化し「アジェンダ21羽曳野」(仮称)を創出する目的で、「はびきの市民環境連絡会議」を提唱し立ち上げた。

第1回の行事として、4月22日(土) アースデー・シンポジウム「気象変動と地方自治体の取組み」を開催し、「エコアクション21について」(落合)、「はびきの自然」(福田)について報告した。

### ② EA21普及活動

#### ・自治体イニシャティブ

羽曳野市、松原市、松原商工会議所、柏原市へ“EA21・自治体イニシャティブ”について普及活動を実施している。

#### ・企業イニシャティブ

数社に普及活動を行っているが、その中でいくつかの質問・要望が出ている。

1) モデル事業募集要綱で、認証登録終了後、中核となる企業が環境パフォーマンスをまとめて中央事務局に報告義務が必要となっているが、そこまでは管理できない。

2) EA-21の認証登録制度の組織をISOと比較して明らかにして欲しい。

環境省、IGES、OECA、地域事務局大阪などの関係を国際標準化機構(ISO)、認定機関(JAB等)、審査登録機関と比較して一般の人が分かるよう図式化して欲しい。など等。

### ③ 羽曳野市における観察会等の予定。

・「シロバナタンポポ観察会」: 4月1、8、15、29日の計4日間。既に実施中。

・「羽曳野市域自然遺産観察会、寺山観察登山」: 4月18日(火)

・「気象変動と地方自治体の取組み」: 4月22日(LIKはびき)のOECAからは落合と福田が参加。

・「タゴガエル鳴き声観察会」: 5月3、4、6、7、13日の計5日間。

・「大阪府山の日・山岳部の啓発活動と清掃」: 11月11日 羽曳野市最高峰寺山観察登山。

・「障害を持つ人達対象の自然観察会」: 日程等は未定。社会福祉協議会と協議中。(主催はOECA)

執行理事 落合 修、執行理事 福田 裕

## 親指と人差し指で輪を作って周りを覗いたことありますか?

「周りを見たらあかん。指めがねの中だけを見て走れ」東京のファッション業界誌のグラフィック・ディレクター(カメラマンの選択からモデルの弁当の手配まで・・・の何でも屋)で身体を壊し、大阪の特殊な映像製作会社に転職した時、初日に社主が私に命じた言葉です。

馬の目を抜く商魂を根っからの近江商人に叩き込まれ、気が付いたら30年の間に社主を含めて11人だった社員が200人の所帯にふくらみ、東京、名古屋、福岡と支社ができていました。

家庭の「力」の字も顧みなかった間に、二人の娘は嫁ぎ、妻が癌に倒れ何とか立ち直ったのを見て、約束された栄光?を断ち切り、二人旅を始めたのが5年前。両手の親指と人差し指で作ったフレームでは見落としていた新たな発見と、聞き漏らしていた豊かな音の世界にもうひとつの感動を楽しんでいます。



OECAの金庫番・一戸さん

私は、毎週木曜日にOECA事務所で、事務経費の小払「清算」をしています。小金額の経費を立替え払いされている方々へ親指と人差し指の輪の日です。

精算される方は、出金(立替)明細に出金伝票を添えて、事務所の理事長の精算用レターケースに入れてください。理事長又は理事長代行者がチェック後、支払いとなります。「精算」が旅で翌週になることもあります。

その時はごめんさい。

小払精算担当 一戸 弘道

編集後記: 先ごろ、平成17年度環境カウンセラーに登録者が発表されましたが、それによると新規登録者は362名(事業者163名、市民199名)でした。カウンセラー登録数は東京、神奈川、大阪府の順で、夫々、680(45)、420(22)、276(27)名(新規登録数)となっています。昨年の個人情報保護法の施行に伴い、新規登録者名簿は入手できなくなり、OECAへの入会の案内ができなくなりましたので、友人知人でカウンセラーに登録された方等へOECAのご紹介をお願いします。入会手続きはOECAホームページでご案内しています。ニュースレターに関する皆様のご意見をお待ちしています。

総会は5月27日となりました。別途、ご案内いたしますが、皆様のご参加をお願いします。

(2006/04 中島記)

発行者: NPO 法人 大阪環境カウンセラー協会

住 所: 〒552-0021 大阪市港区築港2-8-24

piaNPO 411 号

TEL:06-6599-0600 FAX:06-6599-0607 e-mail: info@osaka-eca.org http://www.osaka-eca.org/

発行人: 高井 茂

編 集: 中島延雄

